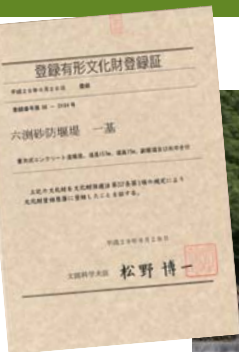


るくぶち 六漕砂防堰堤

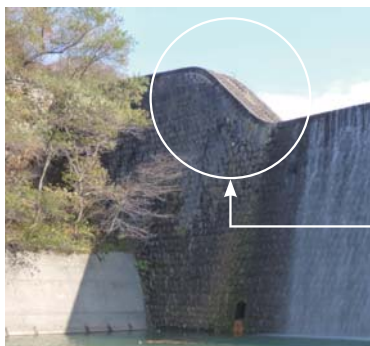
六漕砂防堰堤は、昭和27年に完成し、最上川水系立谷沢川流域で最大級の貯砂量を有しています。堤長L=157.0m、堤高H=15.0mの玉石積み粗石コンクリート造りであり、堰堤全面に玉石を張り、上部（袖部から水通し）は割石を亀甲積した帯を表しています。



第2回心に残る砂防堰堤写真 優秀賞「初夏の流れ」※



玉石積み粗石コンクリート造り
セメントを節約するために、コンクリートの中に玉石を詰めて固める工法です。



亀甲積した帯

曲線的な水通し形状

袖部から水通しまでの形状が、美しい曲線で施工されています。当時の高い技術力と熟練した技を現在に伝えています。